

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月4日
場所:三保地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 秦野峠林道は、通行できるようにして欲しい。 玄倉地区が反対しているのは、不法投棄の問題である。 	<ul style="list-style-type: none">
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 林道等の通行を反対する人の中には、観光客等が増えることで、静かな暮らしが出来なくなる事を理由にしている人がいる。そういった人達の理解を得るために、三保地域に入場する観光客から、通行料を頂き地域のために利用するなどして、理解を得たらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験観光で成功している沖縄の八重瀬町では、観光客1人につき30円程度の迷惑料を徴収し、地域に還元することで住民の理解を得ている。
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ユーシンプルーで観光客が押し寄せた時、町は駐車料金は取れないという回答であった。利益が得られたはずなのに、何故駐車料金を取るようにならないのか。 	<ul style="list-style-type: none">
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 県道山北藤野線は、路上駐車が非常に多く困っているが、警察は違法駐車が多すぎて対処できない。町と警察が協議するか、条例制定するなどして、違法駐車が出来ないようにして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none">
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 県道山北藤野線は、地域要望として大型車がすれ違い出来る様、三カ所の道路拡幅をあげていた。しかし実際工事箇所は、地域の要望とは違ったので、都市整備課に連絡して現場を確認してもらったが、それ以後返答がない。どうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none">

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月4日
場所:三保地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 山北藤野線の拡幅は4年間で4箇所工事計画がある。しかし、この計画では遅いのではないかと。このままでは道志へ抜ける道路は何十年経っても繋がらないのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 道志へ抜ける道路については、議会としても道志村と交流を行っている。今後はただの交流ではなく、議員連盟等の組織を作るなど両方の行政、県、国を巻き込みながら継続して強く要望していきたい。
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 小田原甲府線の道志村に抜ける構想は町の基本構想に盛りこむべきだ。新東名のスマートICの連携、回遊性も考え議会でも要望して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 道志村へ抜けるルートは昨年も山北・道志村双方の議会でも意見交換を行った。更に人的交流を深めていき、活動の輪を広げていく考えである。
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 三保は定期バスも少なく、更に高齢化が進むと免許証の返納等により、買い物や病院へ行く手段がなくなってくる。タクシー券の補助はあるが、金額に制限があり十分ではない。これからは、すべてを町に任せるのではなく、運転手等地域も共に協力し、共和の福祉バスのような運用の仕組みを考える必要があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 山北町全体で、交通弱者が増えている。町では、色々な公共交通を運用しているが、再度全体を見直す必要であると考え、研究段階ではあるが、総務環境常任委員会でも調査している。共和地区の事例もあることから三保地域の皆さんも研究・検討してほしい。
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 御殿場線ICカード導入が御殿場線内に止まっているが、国府津駅の跨ぎが問題であり解決に注力して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 議員連盟を結成し活動してきたが、この一点が課題と認識している。継続していく。
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 管理捕獲の効果か、シカの頭数は減ってきたように感じる。イノシシは目にしないが、作物等の被害はある。三保での問題はサル。人的被害はないが、減らさないと生活に支障がでてくる。ヤマビルの被害は中川では聞かないが、玄倉では多く、7月の環境整備時には、1人で7匹のヤマビル被害に遭った人もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況は理解しており、総務環境常任委員会でも中心の課題である。
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ヤマビル・マダニの有効な対策はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、薬を撒いて燃やす以外有効な方法はない状況。今後も委員会として継続的に研究していく。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月4日
場所:三保地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
観光関係	総務環境 常任委員会	・ 山北町のさくら祭りの送迎は無料で行っている。松田町については、さくらの保護としてお金を徴収しているようだ。山北町でも、何らかの形で観光客からお金を頂き、さくら祭りの継続や質の向上に役立てたらどうか。	・
観光関係	総務環境 常任委員会	・ 丹沢荘を買ったロハスの動向が見えない。当時働いていた一部の従業員は現在、職に就けず「待機」を強いられている。音沙汰がなく困っている。	・ 一部の従業員を待機させ、その後音沙汰がないのは問題である。責任所在を含め、早急に行政から確認し、何らかの対応を図るよう申し入れる。
観光関係	総務環境 常任委員会	・ 一方ぶなの湯は、現在従業員が数名退職したため、人員不足である。待機している社員を期限付きで雇用できる体制など何か対策はないか。	・
公共施設関係 (山本邸)	総務環境 常任委員会	・ 山本邸が町に寄付され町が改修した。現在、年に数回財産区が会議等で利用しているが、使用目的が明確ではなく、地域への説明もない。管理は、年に6回程度婦人部に掃除を委託し、労賃を払っている。箱物のランニングコストは大きく、財政負担となっているのではないか。	・ 聞き取り、対策を検討する。
公共施設関係 (山本邸)	総務環境 常任委員会	・ 子供会でも年に数回使ったが、駐車場がないので使いにくい。また、地域の集会は、別の施設を使っているの、利用価値に疑問である。恒常的に活用できる施設にすべきだ。	・ 聞き取り、対策を検討する。。
公共施設関係 ぶなの湯	総務環境 常任委員会	・ ぶなの湯の柱（根元）が腐っており、早期に改修する必要がある。	・ 状況を調査する。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月4日
場所:三保地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
公共施設関係 ハイツ&ヴィラ	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 中川ハイツ&ヴィラ跡地の利用計画は、幾度となく計画が変わり、未だ方向性がでていない。今後5年間は、新東名の鹿島建設が利用するが、その後はどうなるのか。観光立町にふさわしい仕掛けが必要だ。住民の意見も必要だが、町の考えを示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 総務環境常任委委員会でも、丸山地区を含め早期に対応すべき重要な課題として捉えている。
公共施設関係 (ダム)	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 三保ダム建設から40年経過しているので、当時の権利（三保地域振興整備計画）を主張しても無理だと言う。しかし、県や広域水道企業団には権利や要望をしっかりと発信すべきだ。水源地要望を、大事にしていたきたいが、県の窓口がなく、聞く機会が減っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三保ダム建設当時の関連で、昨年も意見をいただいた、対策を検討する。
公共施設関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 三保ダム建設に伴う移転者の憩いの場としてつくられた丹沢荘が無くなった。その際に地元と交わした28項目の約束はどうなるのか。企業庁は取り決め自体わからないと言う。県は水源地の重要性をもっと理解し、地元住民の意思を尊重するべきだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜・川崎方面の水は、三保地域の犠牲の上に成り立っている。水源地の重要性を町や県に訴えていく。
人口対策関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 町の婚活イベントでは、対象者が町内でない。カップルが発生しても町内の人口が増える結果に繋がっていない。内容を見直すべきだ。三保の青年会を対象にしたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 婚活イベントは、町のPRの側面もある。 ※婚活イベントには、町内外にこだわらずどなたでも参加できる。
人口対策関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 定住対策として、住居を用意しているがどれも高い。定住を考えるのなら、格安で入居できるようにするべきだ。 	<ul style="list-style-type: none">

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月4日
場所:三保地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
人口対策関係	総務環境 常任委員会	・ 貸家の場合、入居者の権利に関わるトラブルを考える家主も多く、良い物件は少ない。また先祖代々の土地や家を自分の代で手放したくない地主が多い。	・
人口対策関係	総務環境 常任委員会	・ 町が空き家や空き地を買い取り、安く定住希望者に貸したらどうか。	・
人口対策関係	総務環境常任 委員会	・ 定住対策課のHPだと、三保の空き家は1軒だけ。明らかに空き家が多いのに所有者や居住権の問題で貸してもらえない。何とか上手く仕組みが作れないか。	・ 移住定住促進の観点からも空き家情報の提供や共有について、仕組み作りから行政の定住対策に確認をしていきたい。
人口対策関係	総務環境常任 委員会	・ 町全体だと空き家情報管理が難しければ、三保地域の中でそうした情報が管理できる仕組みを作ってみてはどうか。	住居も重要だが、雇用の場が近くに必要。今後小山町では工業団地やホテルなど新設計画があり働き手が足りない。山北町、特に清水や三保地域から働きに行ける環境整備も必要だと考えている。委員会としても調査を進めている。
人口対策関係	総務環境常任 委員会	・ 100軒あった畑地区の世帯は現在60軒となってしまった。若者の町外への流出を防ぐ対策として、小山町とタイアップした求人活動等に取り組んだらどうか。	・ 議会では、小山町の内陸フロンティア等を視察し、小山町との連携を模索している。
その他	総務環境 常任委員会	・ 清水の山砂利跡地は、山北では希少な広大な平地である。何とか活用を考えて欲しい。	・ 山砂利跡地活用については、課題が多いのが実情である。何とか活用につなげられないか総務環境常任委員会で継続して調査研究している。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月4日
場所:三保地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
その他	総務環境 常任委員会	・一部のマナーの悪い観光客のために、地元は迷惑している。看板等で啓発するなどの対策が必要である。	・
その他	総務環境常任 委員会	・丹沢湖高校駅伝関東大会の選手役員の宿泊について地元の活用をもっと図るべきだ。(神奈川県外の1,200名の団体を同一条件で宿泊させたい高体連の意向で御殿場宿泊となったようだ)	・
その他	総務環境常任 委員会	・買い物難民のために、採算が合わなくても移動販売車を検討して欲しい。利用できる国の補助制度は無いのか。	・国も、買い物弱者対策に関する実態調査をしている。国の助成、補助制度等検討してみる。
幼児・子供関係	福祉教育 常任委員会	・子どものイベントはなくさないように工夫しながら続けているが、明らかに子どもがいなくなる状況。	
幼児・子供関係	福祉教育 常任委員会	・中学校統合の際、その意思確認を子どもにさせる等の話があった。そうした問題を子どもに決めさせるのはおかしいと思った。	
幼児・子供関係	福祉教育 常任委員会	・人数が多い学校では、競ったり比べたりすることは子どもにとってもいいことだとは思う。 ただ、三保ならではの特色ある学校教育のスタイルも重要ではないか。	
幼児・子供関係	福祉教育 常任委員会	・三保幼稚園、岸幼稚園、認定こども園との交流内容が以前より充実しており、ありがたい。	・交流内容の拡充や新しい取組みなどがあれば双方の保護者会等を通じて議会に提案してもらおうといい。子どもの教育の観点から教育委員会に投げかけることはできる。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月4日
場所:三保地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
幼児・子供関係	福祉教育 常任委員会	・ 三保幼稚園から行くだけではなく、岸幼稚園や山北こども園が三保幼稚園にくるなど相互交流があるといい。	・
その他 定住	福祉教育常任 委員会	・ 三保に住み、三保幼稚園に通わせたい外国人がいる。そこで、家族で住める家を地域でも一緒に探しているが、空家はあるのに貸しても良いという良い物件がない。住みたいというニーズはあるので、町は定住につながる支援を積極的に考えて頂きたい。	・ 定住対策課に実状を確認し、対策を検討する。
高齢者関係	福祉教育 常任委員会	・ 委員会活動報告について 県外視察先の鳩山町の状況、人口や高齢化率を説明されたい。	・ 人口は約13,800人、高齢化率は40%を超え、かつて人口増を担ったニュータウン地区は50%を超えている。
なり手不足 人口対策関係	委員会以外	・ 若者は町に対して諦めている。 住民の多くが変革を望んでいない。それならば外に出て就職や子育てのしやすい地域に出て行ってしまふ。	・
なり手不足 人口対策関係	委員会以外	・ 議員だけで家族を養っていけない。議員定数を減らして報酬を増やす事が必要ではないか。	・ 議員のなり手不足については、議会でも議論の途中である。
なり手不足 人口対策関係	委員会以外	・ 昔は、議員になって町を盛り上げようとする人が大勢いて、選挙が当たり前の時代であった。今はそういう人が少ないということか。	・ 若者が少なくなる中、働き世代は町外に出て就職し、普段町にいない事が理由だと思う。
なり手不足 人口対策関係	委員会以外	・ 議員になるのを応援する環境はあっても、その後の応援がないように思う。議員になってからも、住民の協力する姿勢が無ければ継続するのは難しいと思う。	・

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月4日
場所:三保地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
その他	委員会以外	<ul style="list-style-type: none"> 地域に無関心の若者が多く、全戸配布のチラシや回覧が回っても、見ないで集会等にも参加しない。そういった人達に関心を持ってもらえるような仕組みを考えていく必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> そういった地域の実情や意見を、もっと行政や議会にあげて頂きたい。
その他 なり手不足・議員報酬・議員定数	委員会以外	<ul style="list-style-type: none"> 議員定数を議論する中で一番の理由は地域性だったのか 	<ul style="list-style-type: none"> あり方検討委員会でいろいろ議論を重ねてきた。山北の地域性は他町に無い特性であるが、議会の役割、機能を十分揮できる組織や構成、委員会機能等も含め検討してきた。
その他 なり手不足・議員報酬・議員定数	委員会以外	<ul style="list-style-type: none"> 再選挙等を回避するためには後継者の育成をするべきだ。また、議会の衰退を避けるためにも退任する議員は後任を探す努力をするべきだ 	<ul style="list-style-type: none">
その他 なり手不足・議員報酬・議員定数	委員会以外	<ul style="list-style-type: none"> 地域や自治会から推薦する。当選後も地域と一体となって課題解決していく姿を望むが近年は難しくなっている。自治会活動が衰退してきたと感じる。 	<ul style="list-style-type: none">
その他 なり手不足・議員報酬・議員定数	委員会以外	<ul style="list-style-type: none"> 少数意見も大事にする議会制民主主義を衰退させないためにも定数は維持すべきで、また議員が生活していく上での相応の報酬、活動費等は検討するべきだ。 	<ul style="list-style-type: none">